

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2単位
学科	全学科	学年	2学年		
学習目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め人生を豊かにする態度を養う。また、基本的な国語の能力、進んで読書をしたり表現したりする態度も養う。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	1	明日をひらく 「迷う」力のすばらしさ	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の関心や問題意識を理解している。 【A・D・E】 ・現代社会の抱える問題と自らの関係について考え、思考や視野を豊かなものになっている。【B・C】 ・人物、情景、心情を的確にとらえている。【D】 ・作品の構成、主題を理解している。【D・E】 ・時代、社会、人間の関係について考えている。 【A】 		
	2	小説を読む（一） ナイン	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に対する興味と問題意識を持っている。 【D・E】 ・日本語コミュニケーションの現状について考えようとしている。【A・B・C】 ・感想文の書き方を身に付けている。【C・D・E】 		
	3	暮らしの中のことば 言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの (表現) 読書感想文の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代詩の鑑賞の仕方を身に付けている。 【B・D・E】 ・近現代詩に親しみ、想像力を豊かにし、言葉に対する感性を磨こうとしている。【A・C・E】 		
	4	詩を味わう 小諸なる古城のほとり 六月 コスモス	<ul style="list-style-type: none"> ・論の展開、要旨を把握できる。【D・E】 ・具体例と論証の関係を理解しようとしている。 【A・D・E】 ・報告書の書き方を理解し、活用できる。【C・E】 ・聞き取りやすい報告の話し方を工夫している。 【A・B】 		
	5	「自然」を考える ゴリラの思いやり (表現) インターンシップの報告	<ul style="list-style-type: none"> ・人物、情景、心情を的確にとらえることができる。 【D・E】 ・小説表現の豊かさを味わおうとしている。 【B・D】 ・小説世界を自分に引き付けて考えようとしている。 【A・D・E】 		
	6	名作を読む（一） 山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の意図や情景、心理描写を的確にとらえることができる。【D・E】 ・多角的な視点の必要性について考えようとしている。 【A・C】 		
	7	ユーモアとゆとり ももこのいきもの図鑑	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の問題を意識的に考えようとしている。 【A・D】 		
	8	情報化時代に生きる 検索時代における読書 (問題演習)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に問題を解く態度を身に付けている。 【D・E】 		
評価の観点	【A】関心・意欲・態度 【B】話す・聞く能力 【C】書く能力 【D】読む能力 【E】知識・理解				
評価方法	定期考査、小テスト、出席状況、課題及び提出物、授業態度や意欲による総合評価				
教科書等	新編現代文B 改訂版（大修館書店）				
備考	2・3学年の継続履修。2学年で第I章、3学年で第II章を学習する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。